

Mémoires 2019

チャンピオンズカップ



第20回チャンピオンズカップ[G1] 優勝馬 クリソベリル



▲底知れぬ強さで新たな王者となつたクリソベリル。

古豪を撃破し、世代交代を宣言



▲インコースで流れに乗るクリソベリル(帽色・赤・右)は、絶好の手応えで直線へ。

など交流重賞3勝を含むデビュー以来破竹の5連勝をなして、積み上げてきた2着馬との着差が合計26馬身という桁外れの能力で、古馬一線級といかに戦うのか、俄然注目が集まった。

様々なダート路線から集まった全16頭が収まってゲートが開くと、フェラリーステークスを逃げ切ったインティが、ここでも勢いよく飛び出して先頭へ。クリソベリルはすぐ後ろ、内ラチ沿いの3番手という好位置を取り、ゴールドドリームもそれをマークするように4、5番手を進んだ。1000mの通過タイムは60秒8という平均的な速さでレースは流れた。

マイペースで逃げたインティは粘り強い。直線へ向いてリードを少しずつ広げると、武豊騎手の鞭を受けて逃げ切りを図る。しかし、そこへ追いつがったのがクリソベリルとゴールドドリームの2頭だ。クリソベリルが先に2番手に上がるも、やや脚勢が鈍ったようにも見えたところへ、外から来たゴールドドリームと馬体が合うと再びエンジンがかかった。「3頭が競り合うかたちになつたら、自分で抜け出してくれた」と川田将雅騎手が振り返るように、これまでのレースとは違う、闘争心をむき出しにした走りを見せ、ゴールドドリームをクビ差競り落とした。

クリソベリルは、全兄にジャパンダートダービーを勝ったクリソライト、半姉に宝塚記念とエリザベス女王杯を制したマリアライトを持つ良血馬だが、疲労や夏負けなどの影響を考慮して、レース間隔をあけつつ使われてきた。その甲斐もあってか、一層大きくなった馬体で、チャンピオンズカップ制覇をわずか6戦目、しかも無敗で成し遂げた。一体どこまで強くなるのか、先々にさらなる楽しみを抱かせるニューヒーローが誕生した。

第20回チャンピオンズカップ[G1]

12/1 中京競馬場 1800m(ダート・左) 晴、良 16頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	クリソベリル	牡3	55	川田 将雅	音無 秀季	1:48.5	②	③ ④ ④
2	ゴールドドリーム	牡6	57	C.ルメール	平田 修	クビ	①	④ ⑤ ④
3	インティ	牡5	57	武 豊	野中 賢二	1 1/4	③	① ① ①
4	チュウワウイザード	牡4	57	福永 祐一	大久保龍志	1/2	⑤	⑥ ⑥ ⑧ ⑦
5	キングズガード	牡8	57	秋山真一郎	寺島 良	1 3/4	⑬	⑮ ⑯ ⑯ ⑯ ⑯
6	オメガバフューム	牡4	57	L.デットーリ	安田 翔伍	3/4	④	⑥ ⑦ ⑧ ⑦
7	ヴェンジェンス	牡6	57	幸 英明	大根田裕之	アタマ	⑩	⑯ ⑯ ⑯ ⑯ ⑯
8	タイムフライヤー	牡4	57	O.マーフィー	松田 国英	アタマ	⑧	⑩ ⑨ ⑯ ⑯
9	ウェス்டারンド	駄7	57	C.スマヨン	佐々木晶三	ハナ	⑥	⑩ ⑨ ⑧ ⑦
10	ロンドンタウン	牡6	57	岩田 康誠	牧田 和弥	1/2	⑭	④ ③ ② ②
11	ワンダーリーデル	牡6	57	横山 典弘	安田 翔伍	クビ	⑪	⑯ ⑯ ⑯ ⑯ ⑯
12	モズアトラクション	牡5	57	藤岡 康太	松下 武士	3	⑫	⑯ ⑯ ⑯ ⑯ ⑯
13	ミッパ	牡7	57	和田 竜二	加用 正	2 1/2	⑯	⑫ ⑫ ⑯ ⑯ ⑯
14	ワイドファラオ	牡3	55	M.デムーロ	角居 勝彦	クビ	⑨	⑨ ⑨ ④ ④
15	サトノティーン	牡6	57	R.ムーア	堀 宣行	1 1/2	⑦	⑥ ⑦ ⑦ ⑦
16	テオーエナジー	牡4	57	川須 栄彦	宮 徹	8	⑯	② ② ② ②

単勝 ⑤440円 複勝 ⑥170円 ①130円 ④190円 枠連(3-6) 490円
馬連 ⑤-⑥1960円 馬単 ⑤-⑥1,820円 ワイド ⑤-⑥1380円 ④-⑥670円 ④-⑥410円
3連複 ④-⑤-⑥1,900円 3連単 ⑤-⑥-④8,980円

ハロンタイム 12.8-11.3-12.5-12.1-12.1-12.0-12.0-11.6-12.1
通過タイム 600m 36.6-800m 48.7-1000m 1:00.8-1200m 1:12.8-1400m 1:24.8-1600m 1:36.4

優勝馬 クリソベリル

2016.2.10生 父ゴールドアリュール 母クリソフレーズ 母の父エルコンドルバサー
安平・ノーサンファーム生産 馬主:(有)キャロットファーム